

第8回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

平成27年10月22日(木) 10:00~12:00

2. 場所

内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、片岡部会長代理、青木委員、折木委員、久保委員、白坂委員、仁藤委員、名和委員、山川委員

(2) 事務局

小宮宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、高見宇宙戦略室参事官、内丸宇宙戦略室参事官、松井宇宙戦略室参事官、末富宇宙戦略室参事官、守山宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 宇宙安全保障に関する工程表改訂について

参考資料1から4に基づき、事務局より説明を行った。当該説明を踏まえ、委員から以下の意見等があった。(以下、意見等、事務局の回答)

情報収集衛星について、時間軸多様化衛星を整備するとなれば、さらに相応の予算が必要となるため、今後とも議論していくべきである。

先進光学・レーダー衛星やアスナロについて、安全保障上のニーズについても、よく考慮して開発・運用すべきである。

海洋状況把握(MDA)に係る施策について、ニーズの把握に基づくアプローチも重要ではないか。

安全保障の観点からMDAをどう捉えるのかについて、よく整理しつつ、取り組んで参りたい。

JAXAと防衛省との連携強化について、各種衛星等の安全保障分野への利用を図る等のため、定期的な会合を持つことも有益ではないか。

宇宙に係る将来の技術研究開発が、相互に重複せず、効率的に進められるよう、各施策の横串を通した、統一的な検討も必要ではないか。

今の宇宙基本計画は諸外国からも注目されているので、宇宙システム全体の抗たん性強化などについては、対外的な説明の仕方についても、よく検討する必要がある。

以上